人工授精報告カードの記入の仕方

このカードでの報告は、自動登録実施農家に限らせていただきます。
人工授精を実施した家畜人工授精師または獣医師が記入し報告してください。
自家授精の場合は、飼養する農家が記入し報告してください。

このカードは、乳牛に人工授精し報告するときに使います。
この報告内容は、生れる子牛を登録する際に必要となりますので忘れずに報告してください。
１枚のカードで、同一農家 10 頭(10 回の授精)の報告が可能です。

《農場コード》

農場コード(個体識別登録電話番号)と氏名を正しく記入してください。

《授精した人工授精師コード》

人工授精師の免許番号と氏名を記入してください。なお、自家授精の場合はこの欄の記入は不要です。

授精師コード(10 桁)　　授精師：免許発行県(２桁)+免許発行支庁(２桁)＋免許番号(６桁)
獣医師：ゼロ埋め４文字(0000)＋獣医師免許番号(６桁)

【JIS 県コード：免許発行県(２桁)】

北海道:01	青森:02	岩手:03	宮城:04	秋田:05	山形:06	福島:07	茨城:08	栃木:09	群馬:10
埼玉:11	千葉:12	東京:13	神奈川:14	新潟:15	富山:16	石川:17	福井:18	山梨:19	長野:20
岐阜:21	静岡:22	愛知:23	三重:24	滋賀:25	京都:26	大阪:27	兵庫:28	奈良:29	和歌山:30
鳥取:31	島根:32	岡山:33	広島:34	山口:35	徳島:36	香川:37	愛媛:38	高知:39	福岡:40
佐賀:41	長崎:42	熊本:43	大分:44	宮崎:45	鹿児島:46	沖縄:47			

《精液を注入した雌牛･個体識別番号》

精液を注入した雌牛の個体識別番号(耳標番号 10 桁)を記入してください。

《授精年月日》

年は西暦で記入してください。例：　2 0 1 9 年 0 6 月 0 2 日

《交配種雄牛登録番号または略号》

全ての授精について報告してください。

左づめで記入してください。

登録番号
輸入精液の場合は、　末尾の外国符号を忘れずに記入してください。
例：USA559551□□□□　　USA:アメリカ　CAN:カナダ　NLD：オランダ

略号
例１：H3342□□□□□□□　⇒人工授精ラベルが H3342 あるいは H-3342 の"-"は、記入有り無しどちらでも良い。

国コード(JP)+管理者コード(▲)+品種コード(H)+種雄牛固有コード(５桁)
管理者コード　２･６：(株)ｵｰﾙｼﾞｬﾊﾟﾝﾌﾞﾘｰﾀﾞｰｽﾞｻｰﾋﾞｽ(AJBS)
３　：(一社)ｼﾞｪﾈﾃｨｸｽ北海道(GH)
４　：(株)十勝家畜人工授精所(十勝 AI)
５　：(一社)家畜改良事業団(LIAJ)

例２：JP▲H3421□□□□　⇒**08･09 後検以降の検定済種雄牛略号**

08･09 後検の検定済種雄牛略号
調整交配時の「PW+種種牛固有の番号(４桁)」の４桁番号の前に「０」を付けた５桁番号にして報告してください。　例　PW4321→04321
10 後検以降の検定済み種種牛
調整交配時の略号である「登録番号(５桁)」の番号をそのまま報告してください。

※略号は精液ﾗﾍﾞﾙなどに記載されている内容や上記の例に従い記入してください。

報告先 FAX 番号:011-726-3124

電話番号: 011-726-3112

一般社団法人　日本ホルスタイン登録協会北海道支局